標準服・スマートフォン持ち込みに関する保護者アンケートの考察

1 はじめに

保護者の皆様からたくさんの真剣なご意見をいただき、感謝申し上げます。すべてのご意見を読ませていただきましたので、今後の方向性を判断する材料とさせていただきます。

さて、標準服についても体操着についても、またスマートフォンについても、コンセプトは何なのかということが非常に大切になると思います。中学生に対する親の思いや地域の思い、はたまた教員の思いなど、見方・捉え方・考え方は様々だと思います。しかし一番大切にしなければならないのは、板橋第五中学校に通う生徒たちにとって、何が一番良いのか・大切なのかを考えていくということです。大人が自分の生育歴の中で経験した「中学校」や「中学生」に基づいた価値観や今日的な課題だけで考えるのではなく、10年先20年先の未来に待っている生徒たちの生活をイメージし、今何が必要なのか、何が大切なのかといったことを考えていく必要があると思います。

自分の経験則や、世間一般的に伝わってくる中学生の実態などから、皆さんが様々心配されることは当然のことだと思います。しかし、板橋五中の生徒を信じ、これから歩いていく未来でより多くの幸せを得るために、自分で考え行動できるように支援してあげるのが、我々大人の役割です。時には冒険をさせ、失敗したらやり直しをさせるぐらいの余裕があっても良いように思います。今までのような画一的な指導や、危険を防止する目的で枠に押し込めてしまう指導ではなく、個に焦点を合わせた指導を行い、個性を認め合える心情を育成することが、ダイバーシティ（多様性）にもつながるとも考えます。また、枠に押し込めることで生じているのが、日本人に多い同調圧力だともいえると思います。無くしていきたい風土です。

皆様からいただいたご意見から、校長として以下のように考察します。

2 標準服について

① 皆様からいただいたご意見やお考えについて

○ 標準服に袖を通すことで、小学生から中学生になる気持ちの切り替えになる。

A. 小学生から中学生への気持ちの切り替えについては、学校がカリキュラムとして行わなければならないことだと思います。入学式もその一つですが、学級活動や学年集会、新入生歓迎会などもそれに含まれると考えます。この他にも、様々な取り組みの中で、中学生として様々なことに前向きに取り組んでいこうとする心情を育ててまいりますので、気持ちの切り替えを服装頼みにする必要は無いように思います。

○ 式典用にスーツ等を購入することになれば、標準服を購入すると結局変わらないのでは。

A. これはお金のかけ方や服の着方・使い方にもよるとおもいます。また、式典だからスーツまたはそれに準ずるものとする必要も無いかとも思います。特に公教育ですので、フォーマルっぽい普段着で十分だと思います。逆に卒業式などで、着飾りたければ自由に着飾るということもあって良いかとも思います。

○ 受験で不利益にならないか

A. 服装で不合格にした学校があったら、人権問題で訴えられると思います。一応近くの私立高校に電話をして、受験担当の先生に確認してみました。高校側の回答としては、私服で受験に来たからといって、それが合否に関わることはない。現に標準服がない中学校の生徒は私服で受験にきているし、私立の中学生は私服で来る生徒が多いとのことでした。また、フォーマルな服装ではなく、普段着（例えば、寒い時期ですからブラウスの上にセーターやトレーナー、ズボンにジーンズ）程度で大丈夫とのことでした。

○. **かわいい・カッコいいといった、着るモチベーションがあがる標準服に変更しては**

A. 特に女子生徒には、そのような考えの生徒も多くいると思います。しかし、これは標準服を着させるための手立てです。今回の話題は、標準服をなくすかなくさないか、儀式の時だけ着用させるか強制しないかです。もちろん私服と考えれば、兄弟や親戚、知り合いのお下がりなどを活用する、なんちゃって制服でもかまわないと思います。

○. **儀式の時にはドレスコードをもうけては**

A. これについては、次のようなご意見がありました。「生徒が考えて着用する為に日々の標準服をやめたのであれば、TPOをきちんと考えさせる機会をもち、行事等も私服にするのが普通なのではないでしょうか。」日々の標準服をやめたわけではなく、選ばない生徒が多いだけではありませんが、TPOをきちんと考えさせる機会をもつことは、まさにその通りだと思います。特にドレスコードをもうけず、生徒たちに考える機会をしっかりとつくり、当日の服装を決めさせれば良いと思います。それが、ジーンズ姿でも（最近はかなりフォーマルなジーンズもありますが・・・）、生徒がしっかり考えて決めたことであれば、それを尊重したいと思います。

○. **世間の人たちは、板五中の生徒が制服の有無しで判断しているのではなく、その子の行動を見ているのであって、そこに気をつけていけばイメージは良くなるし悪くもなると思う。**

A. まったくその通りだと思います。保護者の皆さんや地域の皆さんに、様々ご協力いただいて学校は成り立っていますので、普段お世話になっている皆さんに安心していただくことも中学生として必要なことだと思います。

○. **標準服のリサイクルを行っては**

A. 現在も標準服のリサイクルのお願いは、Web ページのトップページにも掲載しているように実施しています。しかし、ほとんど集まらないのが、現状です。卒業期に、9年生や保護者の皆さんに再度呼びかけを行います。

○. **部活で大会に出る場合の服装や受験の際の服装など、ルールをはっきり提示し、生徒も保護者も納得できる内容だったら標準服を廃止でも良いのでしょうか。**

A. 部活で大会に出る場合の服装ですが、運動部であればユニフォームが指定されている部活があったり、体操着でもOKな大会があったりしますので、各部活動の顧問から説明させていただきます。また、吹奏楽部に関して、今年の夏のコンクールに出場するに当たり、顧問が標準服でと指定してしまったために、夏服をもっていない7年生が大いに困ったという話を、後になって聞きました。この件ではご迷惑をおかけいたしまして、大変申し訳ございませんでした。来年度以降は、出場規定に標準服でとはなっていませんので、大会前に生徒や保護者の皆様と相談させていただきます。受験に関しては、いただいたご意見の「受験で不利益にならないか」で回答いたしました通りです。

○. **中学校は義務教育の場で、学校がなんでもいいですよ、自由にどうぞ、というのは違うのではないのでしょうか？学校から経緯を踏まえて方向性をちゃんと提示していただきたいです。**

A. 新型コロナウイルス収束後も私服登校可とした経緯といたしましては、私服を導入したきっかけが、新型コロナウイルス対応による暑さや寒さ対策でした。すると、私服を導入した結果、生徒たちがいろいろと考えてその日の服装をきめるようになりました。そして、教員がルールの無いものに対する指導をする際に、生徒の話をしっかり聞き、生徒に考えさせ、生徒が出した結果を尊重し、その後もしっかり見守り、気になることが生じたら再度声をかけ生徒にしっかり考えさせるといった、きめ細やかな指導につながりました。今までの様に画一的な決まりを基準として、ほとんど考えずに良いとか悪いとかの判断を行っていた指導から、個の特徴を理解し、個に寄り添ったきめ細やかな指導ができるようになったことが大きな理由です。また、「学校がなんでもいいですよ、自由にどうぞ」とは言っていません。学校生活にふさわしいこと、その日の天候や自分の体調、授業の内容や放課後の活

動などを考えて、服装を選ぶよう指導しています。もちろん気になる服装の生徒がいれば、個別に声をかけています。

② 皆様のご意見を踏まえた校長としての考え

・標準服はなくさない方向で考えています

標準服を廃止した方が良いとお考えの方もいらっしゃると思いますが、生徒の中にも保護者の方の中にも、なくさない方が良いとお考えの方がたくさんいらっしゃいます。皆様のご意見と多様性（それぞれが選んで、それぞれが尊重される）という側面から判断して、なくす必要は現段階では無いと考えます。

・儀式参加も自由な服装で参加させたいと思っています

生徒の中にも保護者の方の中にも、儀式は標準服でとお考えの方がたくさんいらっしゃいます。しかし、保護者の方の約半数は強制はしないまたは標準服以外でとお考えです。多様性を尊重するという観点から、儀式の時も標準服を強制せず、儀式にふさわしいと考える服装で参加してもらうのが良いのではないかと考えます。私は2年間小学校の副校長、3年間小学校の校長を務めました。特にドレスコードをもうけなくても、全員それなりの服装で儀式に参加していました。板四小出身の生徒は、小学校時代から推奨服・標準服になれているので、ちょっと違和感があるのかもしれませんが。

私を感じていること

・「中学生らしさ」というキーワードについて

世間一般的に、「中学生らしさ」といった言葉をよく使います。私も以前は「中学生らしく」といったことを、生徒に言っていました。しかし、よく考えると、「中学生らしさ」には基準が無く、かなり一致する部分が多くても、人により少しずつのずれはあると思います。また、昔の「中学生らしさ」と最近の「中学生らしさ」にも違いがあると思います。つまり、「中学生らしさ」というのは、それぞれ個人が考える理想の中学生のようなもので、本当にそれが、多様性が尊重され変化の激しいこれからの世の中で生き抜いていかなければならない中学生にとって、理想の姿なのかは疑問です。今までの経験則から、それぞれが頭の中に思い描いた「中学らしさ」を、今の中学生に押しつけて良いのでしょうか。

・正当化してきた生徒指導

昔から中学校の職員室では、「指導しにくいから」「指導するのが大変だから」といったことを良く耳にしました。そしてこれらを理由に、様々なルールを作ったり、生徒を枠に押し込めたりしてきました。要するに教員の都合で、生徒に理不尽な思いをさせていたということです。もちろん、集団生活を送るので、自然発生的に最低限のルールが生じるのは当たり前のことです。まったく手に負えないような状況を作ることには避けなければなりません。生徒の気持ちや思いを無視していたように思います。今思うと、本当に失礼なことだったと感じ反省しています。茶髪にはいけない、ピアスをつけてはいけないといったことを、生徒が本当に納得できるように説明できる人がいるのでしょうか？不良になるから、生活態度が乱れて勉強に身が入らなくなるから。必ずそうなるのでしょうか？「学校の常識は世間の非常識」と揶揄する人もいますが、結構言えていると思います。そして、この理不尽な指導がいつの間にか中学校のイメージになり、教員がこじつけに「危険や非行防止のための措置」としていた自分たちの都合が、正当化されていたように思います。

そして、このようにして作られたルールなどによる指導を行う中学校が、世間一般的な「中学校」、そこに通う生徒たちが「中学生」としてイメージ付けられたのではないのでしょうか。

現在板橋五中では、「指導しにくいから」といった考え方はNGです。生徒の為に何が良いのかが第一です。もちろん、同じ成果が得られるのであれば、効率の良い方を選びます。

3 体操着について

① 皆様からいただいたご意見やお考えについて

○ アトピー体質で綿素材のものを着用させたいので、学校指定ではなくてもよいのではないかと思います。

A. アトピーであったり、紫外線アレルギーであったりと、生徒たちの体質は様々です。学校指定の体操着が合わない等のことがあれば、体質にあったもの（素材や形）を着用させてください。気になるようでしたら、お子さんに自分で教員にその旨を伝えるようご指導ください。

○ 兄弟のおさがりのカラー違いでも可にしてほしい。カラーで学年を分ける必要はない。

A. 現在もカラー違いをNGとはしていません。現状として、おさがりのカラー違いの体操着を着用して授業に参加している生徒もいます。

○ 学校指定は外さず、洗い替えの方を少し緩めていただけるとありがたいです。

A. 現在は新型コロナウイルスへの対応ということで、体育がある日は体操着登校となっていますので、洗い替えについては、準ずるものでOKとしています。このままだと当然新型コロナウイルスが収束すると、学校指定のものとなってしまいますので、今回皆さんにアンケートをお願いしました。アンケート結果では、学校指定の体操着のみとお考えの方は4分の1程度です。

○ 体育の授業の時は、白Tシャツに学年カラーのハチマキが良いと思います。

A. 昔、白Tシャツにハチマキの学校で勤務していたことがありますが、その時は男女別修で2クラス合同だったので、学年色ではなくクラス色でした。板橋五中の現状は、今年度から男女共修で、1クラス単位で授業を行っていますので、ハチマキも不要なのではないかと思います。また、ハチマキを使用すると、体操着よりは洗濯も楽だと思えますが、いちいちアイロンをかけてとなると、保護者の負担は増えると思えます。

○ 自由にした場合、服などの持ち物の管理や紛失、学外での集団行動の際のトラブルなど、誘発する懸念があると思いますが、いかがでしょうか。

A. 持ち物の管理については、悩ましいところです。学校生活で同じものや似たようなものを生徒たちは学校に持参しますので、全てに記名するようお願いしています。しかし、記名がなく持ち主が分からなくなってしまうものも多くあります。名無しで持ち主が分からなくなってしまう物で一番多いのは、ビニール傘だと思います。ですので、着る物に限らず、持ち物にはしっかり記名することをご家庭でも徹底していただけると助かります。

校外での集団行動の際のトラブルですが、集団で同じ格好をしている方が目立ちます。先日、9年生の修学旅行が実施され、全員私服で参加しました。町になじんで目立ちませんでしたし、生徒指導上私服だったからと言って困るようなこともありませんでした。とても良い修学旅行でした。

○ 体操着のシャツを中に入れなければならない理由を、子どもたちはよく理解していません。外に出していると危険だからじゃない？と言っていますが、そうであればテレビで観るサッカーやバスケットはなぜシャツを入れていないのかとも思います。

A. 確かに、学校の七不思議のような指導ですね。昔からシャツを入れるように指導されていたので、私も体育の先生に聞いたことがあります。答えは「危険だから」でした。2011年まではサッカーのJリーグも、シャツの裾を出しているとイエローカードを出されていたように思います。しかし現在は裾だしOKになっています。調べてみると、裾だしNGだった理由は「なんとなくだらしがないから」といった説があります。まさに、日本の学校教育が生み出したルールのような気がします。学校現場ではそれを正当化するために「危険だから」にすり替えていたのかもしれませんが。持久走を頑張っているときに、シャツの裾が出ていると危険なのでしょうか。種目や内容によって、本当に危険な場面があるのであれば、その時だけシャツを入れるよう指導しても良いと思います。

② 体操着の名前に関するご意見

- 名前に関しては、他者へ知らせるといことが一番の目的になるので、それが必要かどうかは保護者よりも先生方や子どもたちの意見が反映されるといいです。
- A. 生徒たちも教員も、ある程度の期間がたてば名前と顔が一致します。そうなれば、体操着に着けている名前は不要になります。
- 名前の必要性が誰なのかを明確にした方がいいかと。
- A. 理由の一つとして、名前がついていることで、誰の持ち物なのかは一目でわかります。しかし、これは体操着に縫い込まれているタグなどに、確実に記名されていれば問題ないことです。もう一つの理由は、体育の授業は座席表が無いことだと思います。教室で行う授業であれば、座席表を作っておけば、そこに座っているのが誰かすぐにわかりますが、体育の場合はその様なわけにはいきません。そのため、体操着に目立つように名前を入れるようになったのだと思います。しかし、前述したように、ある程度の期間がたてば、教員も生徒の名前を覚えますので、必要なくなります。保護者の方のご意見にもありましたが、一定期間学校で用意した出席番号のピブスを着てもらい、先生は名簿を持ち歩いて授業を行うことで、名前を調べるのに多少手間取るかもしれませんが、問題は解決すると思います。

こぼれ話

小中学生あるある

誰のものかわからない衣類があると、匂いをかいで持ち主を探す児童・生徒がいる。
まるで、警察犬の様な嗅覚。

③ 皆様のご意見を踏まえた校長としての考え

・体操服を1着は用意していただきたいと考えています

現行の体操服を廃止した方が良いとお考えの方は、2割に届いていません。また、授業の道具として考えれば、授業を行う学校の都合の良いものを選び形でもよいのかと思います。(なるべく保護者の負担を減らす努力は必要ですが) 洗い替えについては、準ずるものとして、色などにもこだわらず、安全に体育の授業に参加できる服装を準備していただければよいと思います。例えば、Tシャツとハーフパンツを基本とし、防寒が必要な場合は長袖長ズボンのトレーニングウェアなど、おおざっぱなくくりで良いと思います。ちなみに言わずもがなですが、ジャージはメリヤス生地のことです。日本では一般的にジャージでできたスポーツウェアのことを言いますよね。

・現行の体操着への名前つけは行いません

4分の1程度の保護者の方が、名前は付けておく方が良いとお考えですが、そのうちどの程度の割合になるかわかりませんが、紛失に備えてといったことが理由の方もいらっしゃると思います。声掛け事案などがなくなる現在の、新型コロナウイルスが収束しても、休日の部活動などで体操着のまま町中を歩くことを考えると、安全上名前は無くしたいと考えます。その代わりに、各ご家庭で体操着やその他の持ち物への記名を確実に行っていただきたいと思います。体育の授業については、体育科の教員に工夫させます。

※ 既に、在校生には今後体操着を新調する場合には、名前は付けなくても良いと言ってあります。

4 スマートフォンの学校持ち込みについて

① 皆様からいただいたご意見やお考えについて

○ 「今はスマホを持っていなければ」といった短絡的な考えには反対で、ITに強くなるには、すでに Chromeブックがあるので十分と思います。

A. ICT関係のスキルを上げるのであれば、中学生段階ならば Chromebook で私も十分だと思います。スマホを学校に持ち込ませるとするのは、また別の目的だと思います。その目的を明確にし、今の子どもたちにとって将来必須アイテムになるであろうスマホを、安全により有効に使用できるスキルを今のうちから少しずつ身に着けさせる必要はあるとは思いますが、学校への持ち込みを推奨しているわけではありません。

○ コロナ対策のルールすら守れない子がいるのに、スマホ持ち込みルールが守れると思えない。すでに SNSで悪口言われている。

A. 非常に問題だと思います。コロナ対応のルールのどの部分が守れていないのか、SNSでどのような形で悪口を言われているのかこれだけでは把握できませんが、早急に全校生徒へ指導しました。可能であれば、具体的にお伝えいただくと助かります。また、今後スマホの持ち込みを認めるのであれば、文科省の言っている4つの条件をクリアする必要があります。その中に学校と生徒が協力したルール作りもあります。そして、そのルールを作って、生徒たちが守ると約束したならば、既存の行為としてルール違反があっても、信じていきたいと思っています。もちろん、ルールを守れない生徒が出てくる可能性はあります。その時は、都度子どもたちに考えさせたいと思います。

○ 親との連絡なら学校の電話があるし、電車通学の子も公衆電話を利用するか、スマホではなくキッズ携帯のような、通話機能のみとかにすべき。

A. 保護者の方から緊急の連絡を学校が受けて生徒に伝えたり、生徒を電話に出したりすることも可能です。その逆もできます。電車通学の生徒が必要な時にすぐに公衆電話を使えるかということに関しては、最近は公衆電話もかなり少なくなりましたので、難しいかもしれません。中学生にキッズ携帯をチョイスするご家庭はほとんどないように思います。

○ 便利ではあるが、必要ならスマホではなく、区から配られた Chromebook をうまく活用できるように、子どもたちに仕向けてみては。

A. 現在すでに子どもたちに Chromebook の活用については、いろいろと仕向けています。休み時間に調べ物をしたり、黒板をノートに写すのが苦手で、写すことに精一派になってしまい、先生の話をしかり聞くことができないといった場合には、黒板を Chromebook のカメラ機能で撮影し、復習を兼ねて家でノートに書き写すなどといった使い方もできることを、生徒に伝えてあります。

○ スマホを学校の授業で使うことがあるのでしょうか？

A. スマホを授業で使うことはありません。Chromebook がありますので、Chromebook を使用します。ですので、Chromebook は毎日充電して、毎日持たせてください。

○ 登下校中に LINE 等の交換、歩きスマホ、SNS のトラブルが予想されるように思いますが、いかがでしょうか。

A. 他にも休み時間の使用など、校内での使い方について心配される方がいらっしゃいます。登下校時や校内での使い方については、生徒たちに作らせるルールに含まれてくると思います。生徒のアンケートを見ると、同様の危惧が多いので大人以上に慎重にルール作りをするような気がします。また、ルールを破ったからあなたは禁止とするのではなく、ルールを守れなかった生徒には個別にしっかり考えてもらって、その考えを自分自身で表明してもらい、再度その生徒を信じルール通りに利用することを見守る形をとりたいと思います。例えば、自分の考えを校長や担任にプレゼンするとかもよい方法かもしれません。

- 学校に持ち込むとなると、学業への集中が欠けたり、いじめの温床になるので、学校に持ち込むべきでない。
- A. 学業への集中が欠けるようなことがないルール作りは、必要だと思います。いじめの温床について、学校に持ち込む持ち込まないに関わらず、日ごろから生徒たちに訴えていかなければならないことですので、今後も引き続き学校では指導していきましますし、各ご家庭でも事あるごとにお子さんへの指導をお願いしたいところでありまします。ただし、学校に持ち込むことで、周りに友達がたくさんいましますので、肖像権にかかわるトラブルは発生しやすくなるかと思いまします。そのため、ルール作りはかなり重要であると思いまします。
- 一律に禁止する方が管理は楽かもしれませんが、今後必需品となっていくものであるため、適切な使い方（リテラシー）を自宅でも学校でも指導していくべきものだと思います。スマホは、誰かの権利を簡単に侵害したりすることもできるものであること、距離の取り方を試行錯誤しながら年齢に応じて学んでいくこと等、教える必要があると思いまします。
- A. まったくその通りだと思います。保護者会での講演や、生徒への授業をお願いしたいぐらいです。保護者の皆様は、「遊び道具」というカテゴリーではなく、「子どもに刃物を持たせている」ぐらいの緊張感をもって、お子さんにスマホを使用させていただきたいと思いまします。
- 防犯のためにも携帯持ち込みは、賛成いたします。何処に居るかわかるので、良いと思いまします。
- A. キッズ携帯を防犯ベル代わりに首から下げていれば抑止力になると思いましますが、スマホを持ち歩いていても抑止力にはならないと思いまします。ただし、すぐに110番通報ができますので、声掛け事案や犯罪に巻き込まれそうになった時には有効かもしれません。また、GPS機能でどこにいるか探せる状態にしてあれば、居所を把握できる安心感はあると思いまします。時々自分で切ってしまう子もいるようですが、買い与えるときに条件の一つにしておくのも手かもしれません。
- 親向けのスマホ教育を用意して、受講者のこどものみ持ち込み可にするといいと思いまします。
- A. 文科省が出している4つの条件の一つに、「学校や家庭による危険性の指導」というものがあります。持ち込みを考えているご家庭で実施していただかなければならないものですので、指導する保護者にしっかりとした知識や意識がなくてはなりません。そこで、現段階ではソフトバンクがWeb上で行っている全国統一スマホデビュー検定に、親子で合格していただく。（合格するまでチャレンジ）その旨を他の項目も合わせた持ち込みに関する申請書に記入して提出していただく。とりあえずは、この程度で良いのではないかと考えていまします。
- 電車通学の生徒を除けば、ほぼ徒歩で登校している中学生に、どんな緊急性の連絡があるのでしょうか？保護者の緊急連絡先もおつたえしてあるので、いざという時には問題ないと思いまします。
- A. 緊急で使用することは、ほぼないと思いまします。しかし、万が一を心配されている保護者の方もいらっしゃると思いまします。実態として必要ないとお考えのご家庭は持ち込ませなければ良いだけで、持ち込み可としたからといって、全員持ち込んでくださいという問題ではありません。
- 心無い書き込み等があった場合の対応はできていましますか？何かあった場合の責任は、どこにあるのでしょうか？
- A. 学校に持ち込む際の責任は、自己責任でということになります。学校で責任をもてと言われても、そもそも授業では使用しないものを、保護者の要望に沿って持ち込みを許可するわけですから、学校に責任を問われるのは違うと思いまします。もちろん、本校の生徒ですから友達とトラブルになった場合などは間に入って指導しましますが、責任はあくまでも自己責任（保護者の責任）で持ち込んでいただきます。

② 皆様のご意見を踏まえた校長としての考え

・ 持ち込み可の方向で考えます

スマートフォンは、服装と違って学校に持ち込まなくても良いものですので、全員に足並みをそろえていただく必要がありません。そのため、条件をクリアし、保護者が持ち込みを必要と考えているご家庭のみ持ち込み可としていきたいと考えています。

・ 持ち込みは自己責任でお願いします

前述致しました通り、持ち込みは自己責任でお願いします。破損・紛失・友達とのトラブルなど、全て自己責任（保護者の責任）でお願いします。

・ ルール作りは生徒と行います

今回のアンケート結果を生徒にも伝え、保護者の皆様の思いも理解した上で、生徒たちにルールを考えてもらいます。勿論教員も参加しますが、あくまでもアドバイザー的な立場でいたいと思います。良識ある板橋五中の生徒を、信じていただきたいと思います。また、ルールについては、必要に応じて随時改定する必要があるかもしれません。

・ 学校での管理は個人ロッカーで管理してもらうことを前提にしています

保護者の皆様の意見の中に、学校で預かってという意見が多かったのですが、これに合わせて鍵付きのロッカーを購入しましたので、これで管理してもらおうと思います。本校の生徒の現状は、今のところ他者のロッカーをいたずらしたり壊したりした生徒はおりません。鍵付きの個人ロッカーでの管理で構わないご家庭だけ持ち込ませてください。

・ 持ち込みは許可制にします

学校への持ち込みは、文科省が4つの条件を付けています。

(1)学校での管理方法と紛失時の責任の明確化
(2)学校や家庭による危険性の指導
(3)学校と生徒らが協力したルール策定
(4)閲覧対象を制限する「フィルタリング」を保護者の責任で設定 |
|---|

(1)については、前述したとおり自己責任で。

(2)については、学校では安全教室や学活・道徳などの授業と日常的な指導。家庭では、全国統一スマホデビュー検定の合格と日常的な指導。家庭のスマホ使用ルールの作成。

(3)については、今後プロジェクトチームを編成して作成します。

(4)については、保護者の責任で実施していただきます。

(1)の承諾、(2)の実施と具体的なルールの申告、(4)の実施について、申請書にその旨ご記入いただき学校に提出していただく。その後学校が内容を確認して、持ち込み承諾書を発行するのが良いかと考えています。

5 おわりに

今回生徒たちや保護者の皆様から、様々ご意見をいただきました。それを元に校長としていろいろと考えをまとめましたが、これらは未だ決定事項ではありません。必要に応じて今後話し合いを重ねていきたいと考えております。本来であれば、こういったことを保護者の皆様とフラクに話し合うことができる場を設けることができればよいのですが、皆様お忙しい中それは難しいと思います。しかし、幸いなことに学校のネット環境も整いましたので、インターネットを介して今回の校長の考察を受けてのご意見をお聞かせいただければと思います。とりあえず、本校 Web ページのご意見・ご感想のフォームや、欠席等の連絡のフォームからご意見をお寄せください。コミュニティ・スクール委員の皆様からも、ご意見をいただいております。よろしくお願いたします。

校長 太田 繁伸